

議題（2）第2次スポーツ振興計画に係る令和2年度事業実績について
ア 個別事業の実績について

○重点施策1 ラジオ体操の普及啓発

◆ラジオ体操は、誰でも手軽にできる体操です。スポーツをはじめのきっかけづくりや、健康づくりのひとつとして、ラジオ体操の普及啓発に努めます。
◆正しく効果的なラジオ体操ができるよう、スポーツ推進委員との協働による「おはよう！ふれあいラジオ体操会」事業や実技講習会の充実、小中学校をはじめとした関係団体への働きかけ、教本の作成などを行い広く普及啓発に努めます。

P(Plan)		D(Do)			C(Check)⇒A(Action)		
項目	内容	事業数		R2実績	R1実績	R2実施状況の検証・課題	今後の方向性
		基幹年度(令和2)	R1				
①ラジオ体操の普及啓発	手軽にできるラジオ体操をスポーツをはじめのきっかけづくりとして活用できるよう、事業や啓発活動の実施	2	1	・小学1年生向けにラジオ体操教本を配布：配布数1,994冊 【中止】 ・おはよう！ふれあいラジオ体操会(夏休み期間) ⇒ラジオ体操を自主的に実施した実績：41会場、1日最大1,506人、延べ26,375人	・おはよう！ふれあいラジオ体操会(夏休み期間) 参加実績：1日最大7,676人、延べ33,917人 ・小学1年生向けにラジオ体操教本を配布：配布数2,246冊	・教本配布を通じた普及啓発ができた。 ・コロナ禍でもラジオ体操を行う意義を考え、市民に伝える方法を検討する必要がある。	・実施団体ごとで熱中症対策、感染症対策を取りながら安全安心に実施していただくよう呼びかける。 ・市民がラジオ体操に取り組んでいただくための効果的な啓発方法について検討していく。
②ラジオ体操指導会の充実	ラジオ体操の持つ効果を実感できるよう、幅広い世代を対象に、正しい動きを意識した講習会の充実	1	1	・スポーツ推進委員ラジオ体操講習会(中央交流会の代替、11月28日)：85人 【中止】 ・市民向けラジオ体操実技講習会 ・教員向けラジオ体操実技講習会	・市民向けラジオ体操実技講習会(6月30日)：40人 ・教員向けラジオ体操実技講習会(3月10日)：中止	・コロナ禍の影響で実技講習会の開催を中止とした。 ・普段スポーツにあまり触れる機会のない方にラジオ体操を知ってもらう必要がある。	・感染症対策を取りながら幅広い世代に安全安心に参加いただけるよう、開催方法を検討していく。

○重点施策2 企業とのスポーツ連携の強化

◆市内には、全国や世界で活躍する地元企業のスポーツチームがあります。選手やチームに関する市民への周知やジュニア世代の競技力強化のためのスポーツ指導の充実など、企業との連携強化に努めます。
◆市と地元企業スポーツチームとの補完関係の強化のためのホームチームサポーター事業の創設や、スポーツ大会の充実のため、協賛・ボランティアについて企業への依頼を行います。

P(Plan)		D(Do)			C(Check)⇒A(Action)			
項目	内容	事業数		R2実績	R1実績	R2実施状況の検証・課題	今後の方向性	
		基幹年度(令和2)	R1					R2
①ホームチームサポーター事業の推進	安城市にあるトップ企業チームと補完関係を強化し、ジュニア育成やみるスポーツの振興	17	9	・市内3公民館(北部、桜井、明祥)にてホームチームPRブース設置 ・スポーツセンター利用者専用のICカードを、限定1,000枚でホームチームデザインで作成(8月2日から先着で配布し、28日で配布終了) ・スポーツセンターリニューアルオープンに合わせて、センター内にてホームチームPRブース設置 ・デンソープライトベガサスPR動画を市公式ウェブサイト及びインスタグラムにて配信 ・デンソープライトベガサス「さわやかマナー」啓発活動&チームPR活動(8月19日・26日) ・ソフトボール日本リーグ安城大会出場4チームに向けた応援動画の配信及び会場の装飾(9月12日・13日) ・デンソープライトベガサス選手サインボール贈呈式(10月6日) ・デンソープライトベガサス日本リーグ決勝トーナメントパブリックビューイング(11月7日)：35人 ・ソフトボール日本リーグ安城大会出場4チームの選手サインボールプレゼント企画【中止】 ・クリニック(技術指導会) ・大会応援バスツアー	・クリニック(技術指導会)：2競技 計3回 139人 ・大会応援バスツアー：2チーム 計3回 132人 ※3月AWウィングス応援ツアーは中止 ・啓発イベントの実施(デンパーク、ウェルネス、セタまつり)：3回 ・広報あんじょうへのホームチーム3チーム特集記事掲載：年1回 ・広報あんじょう読者へのプレゼント贈呈イベント：3回 ・広報あんじょう折込で日本リーグ観戦案内チラシを配布：1回 ・市内小中学生への日本リーグ観戦案内チラシ配布：2回 ・デンパーク駅でのデンソープライトベガサスのPR：1回、選手15名参加	・コロナ禍の影響で、クリニックや応援バスツアーは中止としたが、各チームや事業のPRに重点を置き各種活動を実施できた。 ・クリニックや応援バスツアーの実施は、コロナの感染状況や各チーム事情等に注視しつつ、安全安心に実施する方法を検討する必要がある。	・各チームと連絡を密にし、効果的なPR方法の検討や、感染症対策を取りながら安全安心に実施できることを企画していく。	
②企業と連携した各種施設・各種大会の充実	市体育館・市ソフトボール場のネーミングライツの募集、安城シティマラソン等への協賛・協力企業の充実	2	3	0	【中止】 ・安城シティマラソン ・安城市民デンパーク駅伝大会	・ネーミングライツの募集及び愛称の決定(市体育館：東祥アリーナ安城) (市ソフトボール場：デンソープライトベガサスタジアム) ・安城シティマラソン協賛協力企業：協賛17社、協力14団体 ・安城市民デンパーク駅伝大会協賛協力企業：協賛17社、協力9団体	・コロナ禍の影響でシティマラソンやデンパーク駅伝が中止となり、募集も取りやめた。 ・開催決定がなされた場合は、企業等に協力依頼をする必要がある。	・企業等からの支援を継続して得ることができるよう努めていく。 ・市民に対するボランティアの機会充実のための情報提供を図っていく。

○重点施策3 オリンピック・パラリンピックに関連した取り組み(※主に国際・全国大会推進活動実行委員会の取り組み内容)

◆東京2020オリンピック・パラリンピックは、人々に夢や感動を与えてくれる世紀の一大イベントであり、間近に一流の選手を観ることができる絶好の機会となります。開催気運の向上による大会成功への貢献、市民のスポーツへの興味・関心の向上のため、大会に関する情報の周知や出場選手の紹介、交流機会の創出などに努めます。
◆組織委員会が作成する事前キャンプ候補ガイドへの掲載や、姉妹都市協定を結んでいる都市を仲介しての交渉などによる事前キャンプ地誘致に努めます。

P(Plan)		D(Do)			C(Check)⇒A(Action)		
項目	内容	事業数		R2実績	R1実績	R2実施状況の検証・課題	今後の方向性
		基幹年度(令和2)	R1				
①全日本大学女子ソフトボール選手権大会(インカレ)の開催	全日本大学女子ソフトボール選手権大会(インカレ)の開催及び県外からからの応援者などとの交流機会の創出	1	1	・全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会(インカレ代替大会)(11月10日～12日)：延べ5,949人 【中止】 ・第54回全日本大学女子ソフトボール選手権大会(インカレ)(8月27日～30日)	・第54回全日本大学女子ソフトボール選手権大会(インカレ)の開催(8月29日～9月2日)：延べ12,770人	・主催団体と協働し、感染症対策を取りながら代替大会を開催した。 ・コロナ禍での観客の動員方法の検討や、参加者や来場者へソフトボールと本市の魅力を知ってもらうためのPR方法を検討していく。	・プロスポーツ等を参考に、コロナ禍での観客の動員方法を検討していく。 ・参加者や来場者へソフトボールと本市の魅力を知ってもらうため、他のイベントと結び付けたPR方法を検討していく。
②東京オリンピック事前合宿の誘致	カナダ女子ソフトボール代表チームに対する東京オリンピック事前合宿の誘致			・カナダ女子ソフトボール代表チームの東京オリンピック事前合宿の実施(令和2年5月1日～11日、7月10日～17日) ⇒令和3年度に延期(実施は令和3年5月及び7月で調整中) ・インスタグラムにて、カナダ女子ソフトボール代表チーム向け応援メッセージと東京オリンピックカウントダウン動画の配信	・カナダ女子ソフトボール代表チームが東京オリンピックの事前合宿を本市にて実施(令和2年5月1日～11日、7月10日～17日)することが決定 ⇒実施は延期	・チームと情報共有を重ね、延期となった合宿の実施の準備に努めた。 ・コロナ禍で交流自体が中止に追い込まれている。	・感染症対策を取りながら安全安心に合宿を実施できるよう、受け入れ態勢を整えていく。 ・コロナ禍においても実施できる交流方法を検討していく。
③東京オリンピック・パラリンピックに向けた準備	東京オリンピック聖火リレーの誘致をはじめとした東京オリンピック・パラリンピックに向けた準備			・本市での東京オリンピック聖火リレーの実施(令和2年4月7日) ⇒令和3年4月6日に延期 ・本市での東京パラリンピック聖火フェスティバルの実施(令和2年8月15日) ⇒令和3年8月中旬に延期	・ホストタウンの登録決定(第18次登録、令和2年2月28日付) ・本市での東京オリンピック聖火リレーの実施(令和2年4月7日)の決定 ⇒実施は延期 ・本市での東京パラリンピック聖火フェスティバルの実施(令和2年8月15日)の決定 ⇒実施は延期	・大会組織委員会等と協働し、延期となった聖火リレー、聖火フェスティバルの準備に努めた。 ・感染症対策を実施しながら開催機運を高める必要がある。	・大会組織委員会等と協働し、感染症対策を取りながら安全安心なイベント運営を実施するとともに、オリンピック・パラリンピックの開催機運を高めていく。
④日本リーグの開催支援	ホームチームでもある女子ソフトボールチーム「デンソー プライトベガサス」及び女子バスケットボールチーム「アイシン・エイ・ダブリュ ウィングス」の本拠地開催支援	2	2	・女子ソフトボール(9月12日・13日)：無観客開催 ・女子バスケットボール(10月24日・25日)：延べ1,007人 【中止】 ・女子ソフトボール(4月24日～26日)：中止 ・女子バスケットボール(2月20日・21日)：スカイホール豊田に会場変更	・女子ソフトボール(9月7日・8日)：5,088人 ・女子バスケットボール(10月26日・27日)：2,400人 ・女子バスケットボール(2月29日・3月1日)：中止	・一部無観客開催や中止となったが、主催団体と協働し、感染症対策を取りながら開催した。	・ソフトボール及びバスケットボールの各日本リーグについて、感染症対策を取りながら安全安心に開催できるよう支援していく。
⑤県強化指定選手奨励金制度の充実	東京オリンピック・パラリンピックを見据え、愛知県で強化指定を受けた選手への更なる支援制度の充実	1	1	・令和2年度指定者数：3人(2026アジア競技大会：陸上1人、フェンシング1人、セーリング1人)	・令和元年度指定者数：4人(オリンピック：レスリング2人、フェンシング1人、パラリンピック：ボッチャ1人)	・例年に引き続き、制度を通じて強化指定選手への支援ができた。 ・指定選手が本市にゆかりがあるかの把握が困難である。	・各種競技団体や中小体連と連絡を密にし、対象選手の把握に努め、支援を継続していく。

●基本方針1 「する」スポーツの振興

◆誰もが、それぞれの年齢や性差、体力等に応じて、生涯にわたり日常的にスポーツに親しむことができる環境の充実とともに、国際・全国大会などで活躍の機会が増えるよう、競技力の向上を図ります。
◆「する」スポーツの振興を通じて、スポーツの楽しさや爽快感、達成感などを感じることができる機会が増え、多くの人の暮らしが喜びに溢れた豊かなものになることにより、市民の元気な笑顔を広げます。

P(Plan)		事業数			D(Do)		C(Check)⇒A(Action)		
項目	内容	事業数			R2実績	R1実績	R2実施状況の検証・課題	今後の方向性	
		基礎年度(192)	R1	R2					
(1)生涯にわたりスポーツに親しめる環境の充実									
①ラジオ体操の推進	誰もががたしやすく、スポーツを始めるきっかけづくりとして、気軽に実践できるラジオ体操を推進	2	3	2	・「〇重点施策1」参照	・「〇重点施策1」参照	・「〇重点施策1」参照	・「〇重点施策1」参照	
②スポーツをはじめのきっかけとなる機会の提供	ランニングなど、気軽に始められる日常スポーツの取組み機会の充実と提供	2	2	1	・金哲彦の「レッツ・ラントレ！」(マラソン及び駅伝の代替イベント、12月13日) :現地参加238人、YouTube閲覧67人、市内中学生280人(ZOOM参加) ⇒計585人 【中止】 ・安城シティマラソン(12月13日) ・安城市民デンパーク駅伝大会(2月14日)	・安城シティマラソン(12月8日):2,856人 ・安城市民デンパーク駅伝大会(2月9日):271チーム 1,611人	・コロナ禍の影響で、シティマラソン及びデンパーク駅伝は中止となった。	・感染症対策を取りながら安全安心に参加していただける方法を検討していく。	
③地域におけるスポーツ機会の提供	初心者でも楽しめるニュースポーツや健康づくりを開催し、地域におけるスポーツ機会の充実	2	2	2	・地域スポーツ振興事業 実績:1,964人(市内21小学校区) ・地域スポーツ交流会 実績:622人(市内8中学校区)	・地域スポーツ振興事業 実績:7,050人(市内21小学校区) ・地域スポーツ交流会 実績:2,782人(市内8中学校区)	・コロナ禍の影響で、スポーツ推進委員が中心となる交流会等の活動が一部中止となった。	・スポーツ推進委員が中心となり、感染症対策を取りながら地域住民が楽しめるスポーツの機会を提供していく。	
④ライフステージに応じたスポーツの普及促進	誰もが年齢、性差、体力に応じて、スポーツに親しむことができるようライフステージに応じたスポーツ機会の創出	3	3	2	・安城市スポーツスクール:11教室、延べ432人(1期中止、2期3期の合計) ・歩けランニング運動:21会場、延べ4,739人 【中止】 ・ファミリーキャンプ(8月15日・16日)	・安城市スポーツスクール:11教室、延べ1,125人(3期合計) ・歩けランニング運動:21会場、延べ7,861人 ・ファミリーキャンプ(8月17日・18日):43人	・コロナ禍の影響で、各種イベントが一部中止となった。 ・スポーツスクールについては、開催時間が平日の日中に限られており、働く世代が参加できない。	・各団体等と連携し、感染症対策を取りながら、世代を問わず誰もが参加できるスポーツの機会を提供していく。	
⑤スポーツ情報の提供充実	スポーツに関する情報や気軽に実践できるスポーツの紹介などの提供の充実				・生涯学習「あんでな」各号にてスポーツ情報の掲載 ・広報「あんじょう」によるスポーツ情報の掲載 ・ニュースポーツの貸出回数:84回	・生涯学習「あんでな」各号にてスポーツ情報の掲載 ・広報「あんじょう」によるスポーツ情報の掲載 ・ニュースポーツの貸出回数:217回	・広報等を活用し、各種スポーツに関する情報提供に努めた。	・引き続き、広報等の媒体を有効活用し、スポーツに関する効果的な情報提供に努めていく。	
(2)競技スポーツの振興									
①競技大会の開催・支援	各種種目別の競技大会を実施し、市民の競技力向上を図る	3	2	2	・安城選手権夏季水泳競技会(10月3日):119人 ・安城選手権秋季競技会(10月3日～11月14日):16競技、延べ2,002人 【中止】 ・安城選手権冬季スキー競技会:一般(2月7日)少年(3月7日)	・安城選手権夏季水泳競技会(8月4日):311人 ・安城選手権秋季競技会(10月5日～11月24日):19競技、延べ3,649人 ・安城選手権冬季スキー競技会:一般(2月16日)少年(3月1日)ともに中止	・各競技団体と連携し、感染症対策を取りながら競技会を開催することができた。 ・競技によっては参加者が減少傾向で一定の競技レベルに達していないものもある。	・引き続き、感染症対策を取りながら安全安心に競技会を開催できるよう、市体育協会と連携を図っていく。 ・一般参加者への参加促進方法を模索していく。	
②全国大会等出場奨励金制度の実施	国際大会、全国大会等に出場する選手の意欲向上や活動の支援	1	1	1	・国際大会:0人 ・全国大会:個人31人、団体6(61人)	・国際大会:4人 ・全国大会:個人245人、団体8(128人)	・例年に引き続き、制度を通じて選手や団体への支援ができた。	・引き続き制度を継続し、選手や団体の支援や意欲向上に繋げていく。	
③スポーツ表彰制度の実施	選手や指導者の功績、スポーツ普及の貢献を讃えるとともに、更なる向上を図る	1	1	1	・功労者:3人 ・優秀選手・団体:29人、12団体	・功労者:7人 ・優秀選手・団体:64人、17団体	・例年に引き続き、制度を通じて選手や団体の功績を讃えることができた。	・引き続き制度を継続し、選手や団体の意欲向上に繋げていく。	
④ジュニア選手の育成	体育協会やトップチームと協働し、次代を担うジュニア選手の発掘や競技力向上を図る	1	4	1	・体育協会主催スポーツ教室:15教室、延べ336人(1期中止、2期3期の合計) 【中止】 ・ホームチームによるクリニック(技術指導会)	・体育協会主催スポーツ教室:15教室、延べ1,441人(3期合計) ・ホームチームによるクリニック(技術指導会):2競技 計3回 139人	・コロナ禍の影響で、一部事業が中止となった。 ・コロナ禍の中でもジュニア世代が安全安心にスポーツに親しめるような機会を充実させる必要がある。	・市体育協会や各団体と連携し、感染症対策を取りながらジュニア世代がスポーツに親しめる機会を充実させ、競技力の向上に繋げていく。	

●基本方針2 「みる」スポーツの振興

◆スポーツをみる楽しさを感じ、さらに、スポーツをするきっかけにつながるよう、関心度の高い競技やトップレベルの試合が観戦できる機会の充実を図ります。
◆「みる」スポーツの振興を通じて、夢や感動を味わうことができる機会が増え、多くの人に、暮らしの新たな楽しみが生じることにより、市民の元気な笑顔を広げます。

P(Plan)		事業数			D(Do)		C(Check)⇒A(Action)		
項目	内容	事業数			R2実績	R1実績	R2実施状況の検証・課題	今後の方向性	
		基礎年度(192)	R1	R2					
(1)スポーツ観戦機会の充実									
①模範試合や指導会の開催	トップレベルの試合観戦の機会の提供や地元チームの選手による指導会を実施することでジュニア選手の意欲や競技力向上を図る	1	1	0	【中止】 ・スポーツ観戦事業(5月10日):カナダ女子ソフトボール代表チーム応援ツアー	・スポーツ観戦事業(2月22日):硬式テニス169人	・コロナ禍の影響で、事業が中止となった。 ・引き続き、参加者にとって興味を引くような内容を検討していく必要がある。	・感染症対策を取りながら安全安心に参加いただけるような企画や集客方法など、開催内容について検討していく。	
②ハイレベルな試合の開催支援	スポーツへの関心と地元への愛着を高めるため、日本リーグなどのハイレベルな試合の開催支援			6	・日本リーグ(女子ソフトボール)(9月12日・13日):無観客開催 ・日本リーグ(女子バスケットボール)(10月24日・25日):延べ1,007人 ・デンソープライトベガス日本リーグ決勝トーナメントパブリックビューイング(11月7日):35人 ・全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会(インカレ代替大会)(11月10日～12日):延べ5,949人 ・全国高校駅伝競走大会パブリックビューイング(12月20日):140人 【中止】 ・ホームチームの大会応援バスツアー ・日本リーグ(女子ソフトボール)(4月24日～26日):中止 ・第54回全日本大学女子ソフトボール選手権大会(インカレ)(8月27日～30日) ・日本リーグ(女子バスケットボール)(2月20日・21日):スカイホール豊田に会場変更	・第55回全日本大学女子ソフトボール選手権大会(インカレ)の開催(8月29日～9月2日):延べ12,770人 ・ホームチームの大会応援バスツアー:2チーム 計3回 132人 ※3月AWフライングス応援ツアーは中止 ・日本リーグ(女子ソフトボール)(9月7日・8日):5,088人 ・日本リーグ(女子バスケットボール)(10月26日・27日):2,400人 ・日本リーグ(女子バスケットボール)(2月29日・3月1日):中止	・一部無観客開催や中止となったが、主催団体と協働し、感染症対策を取りながら開催した。	・感染症対策を取りながら安全安心にインカレや日本リーグなどのハイレベルな試合を開催し、観戦していただけるよう支援していく。	
③地元のトップレベル選手・チームの紹介	地元企業チームを身近な存在として感じることができるよう、企業と協働した地域貢献活動の充実				・市内3公民館(北部、桜井、明祥)にてホームチームPRブース設置 ・スポーツセンター利用者専用のICカードを、限定1,000枚でホームチームデザインで作成(8月2日から先着で配布し、28日で配布終了) ・スポーツセンターリニューアルオープンに合わせて、センター内にてホームチームPRブース設置 ・デンソープライトベガスPR動画を市公式ウェブサイト及びInstagramにて配信 ・デンソープライトベガス「さわやかマナー」啓発活動&チームPR活動(8月19日・26日) ・ソフトボール日本リーグ安城大会出場4チームに向けた応援動画の配信及び会場の装飾(9月12日・13日) ・デンソープライトベガス選手サインボール贈呈式(10月6日) ・ソフトボール日本リーグ安城大会出場4チームの選手サインボールプレゼント企画	・広報あんじょうへのホームチーム3チーム特集記事掲載:年1回 ・広報あんじょう読者へのプレゼント贈呈イベント:3回 ・デンパーク駅伝でのデンソープライトベガスのPR:1回、選手15名参加 ・日本ポッチャ選手権大会(12月20日～22日)での梅村祐樹選手の応援	・各チームと連携しながら、チームのPRに重点を置き、各種PR活動を実施できた。 ・コロナの感染状況や各チーム事情等に注視しつつ、安全安心に実施できることを検討する必要がある。	・各チームと連絡を密にし、効果的なPR方法の検討や、感染症対策を取りながら安全安心に実施できることを企画していく。	

●基本方針3 「おしえる」スポーツの振興

◆安全に楽しく、質の高いスポーツの指導が行われるよう、スポーツ指導者の養成を行います。
◆「おしえる」スポーツの振興を通じて、スポーツの指導を行い、指導を受けた者から尊敬され、さらに質の高い指導につながる好循環を生み出します。適切なスポーツ指導が行われ、多くの人が充実感や満足感を味わう機会が増えることにより、市民の元気な笑顔を広げます。

P(Plan)		事業数			D(Do)		C(Check)⇒A(Action)	
項目	内容	基礎年度(1926)	R1	R2	R2実績	R1実績	R2実施状況(検証・課題)	今後の方向性
(1)優れたスポーツ指導者の養成と活動機会の拡大								
①スポーツ指導者養成講習会への参加促進	優れた指導者を育成するために市独自の指導者講習会を活用した育成・支援の充実	1	1	1	・スポーツ指導者養成講習会:110人(延べ資格保有者:77人)	・スポーツ指導者養成講習会:276人(延べ資格保有者:92人)	・コロナ禍の影響で一部中止となった。 ・様々なジャンルに分けて、参加者にとって理解しやすい講座を実施できた。	・各講師と連携し、参加者がより理解しやすい講座内容の検討や時宜に合った情報提供を継続していく。
②指導者の資質の向上	変化する社会状況に対応した十分な内容を維持するため、最新の情報の提供や指導者の自己啓発機会の充実	1	0	0	【中止】 ・公開講座の開催(2月27日)	・公開講座の開催(3月7日):中止	・コロナ禍の影響で中止となった。	・講師と連携し、参加者がより理解しやすい講座内容の検討や時宜に合った情報提供を継続していく。
③スポーツ指導者資格保有者の紹介	スポーツ指導者資格保有者の活動機会の充実・拡大	/	/	/	・有資格指導者のホームページ公開や派遣方法等の活用方法の検討	・有資格指導者のホームページ公開や派遣方法等の活用方法の検討	・市の指導者以外の保有資格の把握が困難である。	・指導者ごとに保持している資格のデータベース化を検討していく。

●基本方針4 「ささえる」スポーツの振興

◆スポーツ推進委員、ボランティア及び協賛企業などが最大限に力を発揮できる環境を整え、スポーツをサポートする体制の強化を図ります。
◆さらにボランティアや企業と連携し、スポーツを「ささえる」輪を広げることで、多くの人の暮らしが心豊かなものになることにより、市民の元気な笑顔を広げます。

P(Plan)		事業数			D(Do)		C(Check)⇒A(Action)	
項目	内容	基礎年度(1926)	R1	R2	R2実績	R1実績	R2実施状況の検証・課題	今後の方向性
(1)スポーツ推進委員の活動支援								
①スポーツ推進委員の認知度向上	スポーツ推進委員の認知度向上のための機会の充実や、推進委員独自の交流会の開催	/	/	/	・スポーツ推進委員広報誌「マイスポーツ安城」の発刊:年1回(12月) 【中止】・中央交流会	・スポーツ推進委員広報誌「マイスポーツ安城」の発刊:年2回(9月、3月) ・中央交流会の開催(11月23日):74人参加(カローリング)	・中央交流会の代替として、推進委員が中心となりラジオ体操講習会を実施した。 ・広報誌を活用し、推進委員の認知度向上に努めた。	・推進委員の更なる認知度向上のため、新しい広報ツールの活用を模索していく。
②スポーツ推進委員の活動充実	スポーツ推進委員として資質や技能の向上のための研修会や部会の開催	/	/	/	・全体会2回(4月、9月) ・各部会11回(役員会4回、事業部3回、広報部2回、研修部2回) ・スポーツ推進委員研修会1回(市外0回、市内1回)	・全体会3回(4月、9月、2月) ・各部会20回(役員会5回、事業部6回、広報部6回、研修部3回) ・スポーツ推進委員研修会10回(市外4回、市内6回) ・西三河地区スポーツ推進委員実技研修会における実技指導(11月9日)	・コロナ禍の影響で、研修会や部会が一部中止となった。	・委員同士で連携を図り、コロナ禍における部会等の開催方法の検討をしていく。
(2)ボランティアをはじめとする各種協力の拡大								
①ボランティアの育成・支援	市主催大会等にて、市民ボランティアの協力機会の充実と育成の強化	2	2	0	【中止】 ・安城シティマラソン ・安城市民デンパーク駅伝大会	・安城シティマラソン:497人 ・安城市民デンパーク駅伝大会:197人	・コロナ禍の影響でシティマラソンやデンパーク駅伝が中止となり、募集も取りやめた。 ・開催決定がなされた場合は、広報等を通じボランティアに関する情報提供をする必要がある。	・引き続き、ボランティアの機会充実のための情報提供を図っていく。
②スポーツ団体、企業等からの協力拡大	企業による協賛や協力による多面的なスポーツ支援の体制作り	2	3	0	【中止】 ・安城シティマラソン ・安城市民デンパーク駅伝大会	・安城シティマラソン:協賛17社、協力14団体、他一般ボランティア ・安城市民デンパーク駅伝大会:協賛17社、協力9団体、他一般ボランティア ・全日本大学女子ソフトボール選手権:140人(市職員)	・コロナ禍の影響でシティマラソンやデンパーク駅伝が中止となり、募集も取りやめた。 ・開催決定がなされた場合は、企業等に協力依頼をする必要がある。	・企業等からの支援を継続して得ることができるよう努めていく。 ・引き続き、ボランティアの機会充実のための情報提供を図っていく。

●基本方針5 スポーツ施設環境の整備

- ◆気軽に、安心してスポーツ施設を利用することができるよう、スポーツ施設の充実と適切な管理に努めます。
- ◆スポーツ施設環境の整備を通じて、いつでも、どこでも、誰でもスポーツを手軽に楽しむことができ、多くの人が暮らしに豊かさを感じることで、市民の元気な笑顔を広げます。

P(Plan)		事業数			D(Do)		C(Check)⇒A(Action)		
項目	内容	事業数			R2実績	R1実績	R2実施状況の検証・課題	今後の方向性	
		基礎年度(1926)	R1	R2					
(1)スポーツ施設環境の充実									
①スポーツ施設の計画的な整備・充実	スポーツ施設の適正の整備・配置及び維持、スポーツ施設の設備充実、計画的な改修	/	/	/	・スポーツセンター改修工事(工期R1.6.26～R2.6.19、R2.8.2OPEN) ・陸上競技場改修工事(工期R2.6.25～R3.3.30、R3.4.1OPEN)	・レジャープール改修工事(工期H30.6.22～R1.6.21、令和元年7月20日OPEN) ・スポーツセンター改修工事(工期R1.6.26～R2.6.19、令和2年8月2日OPEN) ・ソフトボール場B球場防球ネット等改修工事(工期R2.1.15～R2.3.24) ・秋葉公園テニスコートの移管(R2.1.5～)など	・予定していた大規模改修工事を完了させた。 ・施設に改修未実施部分が残っている。	・個別施設計画に基づき、施設の計画的な改修を行っている。	
②身近なスポーツ施設・整備の充実	庁内で連携し、身近にスポーツが実施できる機会や場所の充実	/	/	/	・公園施設の充実など、庁内での連携を強化	・公園施設の充実など、庁内での連携を強化	・施設は改修されたが、備品などの老朽化が見られる。	・昨年度までに改修を実施した施設を適正に維持管理していく。	
③学校施設の整備等の充実	学校と連携し、活動機会の充実や市民のニーズに応じた器具の充実	/	/	/	・市民のニーズに応じた器具の充実や点検し、更新など活動機会の充実	・市民のニーズに応じた器具の充実や点検し、更新など活動機会の充実	・ニーズに応じ、器具等の更新を実施した。	・環境の整備や器具の更新を通じて、活動機会の充実を図っていく。	
(2)スポーツ施設の適切な管理									
①スポーツ施設の利用促進	スポーツ施設をより多くの人々が利用できるよう、予約方法など運営方法などサービス向上のための調査、研究	/	/	/	・コロナ感染拡大防止による屋内施設の利用制限下においても、限りある施設を複数の団体に利用してもらえるように、抽選会の運営方法を一部変更	・窓口のみの受付としていた時間帯(体育館:12時～13時、テニスコート:12時～13時、その他屋外施設:12時30分～13時)をネットで予約ができるよう変更	・コロナ対策のため、施設利用の人数制限等の対策が必要である。	・引き続き、コロナ禍における施設利用について対応を継続していく。	
②スポーツ施設における安全確保	スポーツ事故の未然防止のための保守管理・点検機会の充実	/	/	/	・バスケットゴール保守点検の実施 ・職員に対するAED設置場所の周知徹底	・バスケットゴール保守点検の実施 ・スポーツ指導者へのスポーツ医学講習会及びAED講習会の実施	・大型器具など専門的な機器があり、職員で全て対応するのは困難である。	・安全に施設を利用いただけるように、保守点検等を継続していく。	

●基本方針6 スポーツ団体等の育成・支援

- ◆スポーツ団体等の活動充実のため、育成と各種支援を行います。
- ◆スポーツ団体等の育成・支援を通じて、スポーツが盛んに行われ、多くの人が健康で楽しみを感じながら暮らすことにより、市民の元気な笑顔を広げます。

P(Plan)		事業数			D(Do)		C(Check)⇒A(Action)		
項目	内容	事業数			R2実績	R1実績	R2実施状況の検証・課題	今後の方向性	
		基礎年度(1926)	R1	R2					
(1)スポーツ団体等の育成・支援									
①ホームチームサポーター事業の創設	市内にあるトップ企業チームと補完関係を強化し、ジュニア指導会や日本リーグの応援などの体制づくりに努めます。	/	/	/	・「〇重点施策2 ①ホームチームサポーター事業の推進」参照	・「〇重点施策2 ①ホームチームサポーター事業の推進」参照	・「〇重点施策2 ①ホームチームサポーター事業の推進」参照	・「〇重点施策2 ①ホームチームサポーター事業の推進」参照	
②NPO法人安城市体育協会の組織体制の充実・支援	スポーツ振興の幅広い取り組みを推進していくため、組織体制を支援します。	/	/	/	・コロナ感染拡大防止対策を講じながら安城選手権などの競技会を開催するための支援	・一般財団法人安城市スポーツ協会の設立(H31.4.1) ・安城選手権を始めとした様々な競技運営の委託を通じた競技力の向上	・安城選手権をはじめとした市体育協会への委託事業につき、感染症対策をしながら安全安心に運営できるよう支援していく必要がある。	・引き続き、市体育協会が推進する取り組みにつき、安全安心に運営できるよう支援していく。	
③各種スポーツ団体の育成・支援	総合型地域スポーツクラブの地域密着・充実など各種スポーツ団体の活動を支援し、新たな団体の育成に努めます。	/	/	/	・スポーツウェルネス吹矢協会、ミニテニス協会の体育協会への加盟(R2.4.1時点で加盟競技団体は26) ・安城選手権秋季競技会でのミニテニス競技の開催	・スポーツウェルネス吹矢協会、ミニテニス協会の体育協会への加盟決定 ・地域で継続して活動できる支援の充実と育成の実施	・競技会の開催等、地域で活動するスポーツ団体の支援や育成に努めていく必要がある。	・地域で活動するスポーツ団体の支援や育成を継続し、スポーツの振興に繋げていく。	

●基本方針7 オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの振興

- ◆東京2020オリンピック・パラリンピックなど国際大会を控え、開催気運やスポーツに対する関心が高まるなか、こうした動向をさらに大きなものにするための機会の創出や情報共有に努めます。
- ◆オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの振興を通じて、多くの人が、スポーツの素晴らしさを再認識し、スポーツに親しみ、関わり、健康で心豊かに暮らすことにより、市民の元気な笑顔を広げます。

P(Plan)		事業数			D(Do)		C(Check)⇒A(Action)		
項目	内容	事業数			R2実績	R1実績	R2実施状況の検証・課題	今後の方向性	
		基礎年度(1926)	R1	R2					
(1)オリンピック・パラリンピックなどの開催気運と関心の向上									
①オリンピック・パラリンピックなどの開催気運の向上	東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、交流機会の創出や大会情報の提供など、開催気運の向上に繋がる取組みに努めます。	/	/	/	・「〇重点施策3」参照 ・アジア大会開催に向けた諸会議への参加等を通じた情報収集、調査研究	・「〇重点施策3」参照 ・アジア大会開催に向けた諸会議への参加等を通じた情報収集、調査研究	・「〇重点施策3」参照 ・アジア大会開催に向けた諸会議へ出席し、大会に関する情報収集に努めた。 ・アジア競技大会での知名度が低い。 ・アジア競技大会で、ソフトボール競技が選出されるかが不透明である。	・「〇重点施策3」参照 ・各種イベントにおいて、アジア競技大会をPRしていく。 ・ソフトボール競技が本市で開催されるよう、大会組織委員会に働きかけをしていく。	
②スポーツに対する関心の向上	国際大会の開催によるスポーツに対する高まりを好機にとらえ、スポーツの素晴らしさを再認識できるよう、情報提供に努めます。	/	/	/					